

母の病気で帰郷を決意！ 地域で愛される「隠れ家的な 場所」を目指して！

Café&BAL 田家 代表 佐藤 りり子
〈カフェ&バル でんげ〉

創業年月/令和2年1月
所在地/北津軽郡中泊町大字中里字亀山265-1
TEL/090-8850-7230 E-Mail/denke0504@gmail.com



■ 青森を離れる前の生活は？

地元の高校を卒業後、教員を目指し弘前の大学へ進学しました。

■ 青森を離れた理由は？

どこで暮らしていましたか？

大学卒業後、東京へ。都立の特別支援学校の養護教諭として赴任しました。青森へ戻るまでは都内で5校ほど勤務し、最終的には副校長という責任の重い役職も経験させていただきました。

■ 青森に戻るきっかけ、経緯は？

青森に戻るきっかけは母の認知症の進行でした。母と暮らしていた父が先に亡くなり、母一人で生活させるのは、大変不安になりました。姉妹で相談し、私が地元に戻り、母の介護をすることを決断。昨年3月に退職し帰郷しました。

■ 創業のきっかけ、経緯は？

青森に戻るにあたって、母の介護をすることはもちろんですが、40年近く教育の仕事に携わり、人と接することを仕事にしていた自分としては、別な形で何か新しいことができないかと考え、地域の方や観光でいらした方が、ゆったりくつろげる場所としてのカフェのオープンでした。

■ 創業支援拠点を活用して よかったことは？

開業を決意した時に、地元の同級生から勧め

られたのが五所川原で行われた創業相談会でした。インキュベーション・マネジャーとの個別相談を通し、プレオープン期間を設け、着実に事業の足場を固めながら準備を進め、今年の6月に無事本格的にオープンを迎えることができました。

■ 現在の活動は？

現在、ランチ・カフェ・バルの3つのタイムで営業しています。ランチやカフェタイムはおかげさまで地元のお客が増えてきています。最近はSNSを見て、遠くからおいでくださるお客様もいます。バルタイムには団体のお客様や同じ趣味を持った仲間のみなさんのご予約もあります。店内の装飾には、母が昔からたくさん



集めていた「ふくろう」のグッズを並べています。店内のあちこちにふくろうの置物を飾りお客様をお迎えしています。ランチやカフェにいらしたお客様が、ゆっくり店内をご覧になるとこちらもうれしくなります。



ふくろうのグッズや素敵な小物がたくさん置かれている

■ これからの夢や目標は？

様々なお客様とのつながりも増えてきている中で、ミニコンサートなどイベントをする予定です。私自身、施設などで二胡(中国の楽器)のボランティア演奏もしているので、機会があればと考えていました。また、お店のスペースを活用しての作品展示や、地元観光をからめて、このお店がひとつの拠点になればと願っています。

■ 青森での「Uターン創業」を考えている方へメッセージをお願いします！

私の場合は地元に戻るしかない状況下での創業でしたが、まずは自分の人生ですので、自身の



楽しみ(譲れないもの、あきらめたくないこと)を見つけることが大事だと感じています。そのためには多少自分の「わがまま」もあきらめなくて、開業を考えているなら、ぜひ創業支援の門を叩いてみてはいかがでしょうか。一人で考えず相談することが第一歩かと思います。

担当IM
(インキュベーション
マネジャー)
からひとこと

事業計画書作成を主として、お手伝いさせていただきました。お会いした当初は「やってみなければわからない」というお気持ちが強い方という印象でしたが「考えてからやる大切さ」をご理解いただき、試行錯誤を重ねた上で、事業実現まで至れたかと思っております。地域のキーマンとして、創業目的である「地域の活性化」に寄与する活躍を期待しております。

齋藤 I M

